

8 生きがい感と社会活動との相関

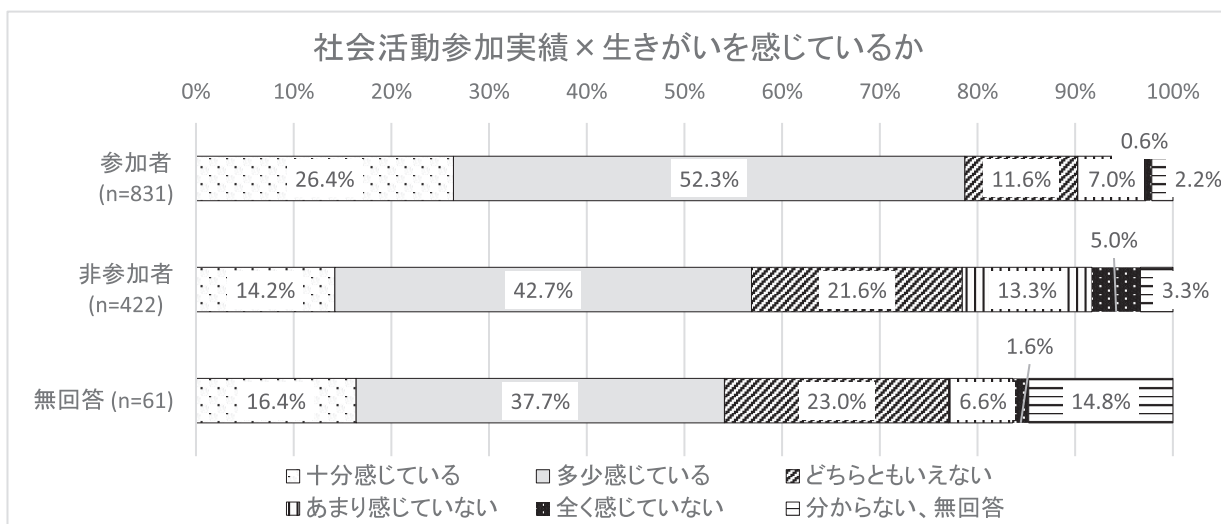
日々の暮らしの中の生きがいと社会活動参加実績との相関関係や、生きがい感と地域貢献活動意欲等との相関関係について集計・分析を行った。

調査結果のポイント

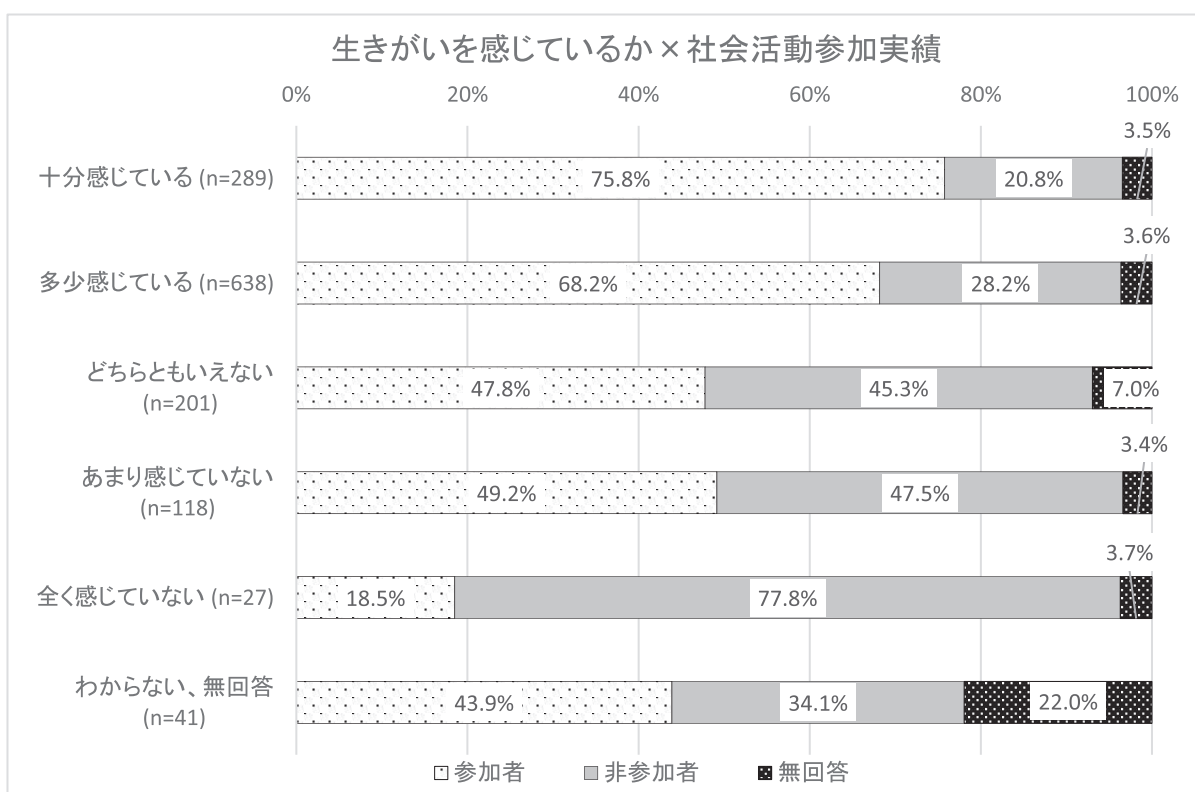
○社会活動への参加実績や意欲がある人の方が、生きがいを感じている人が多い

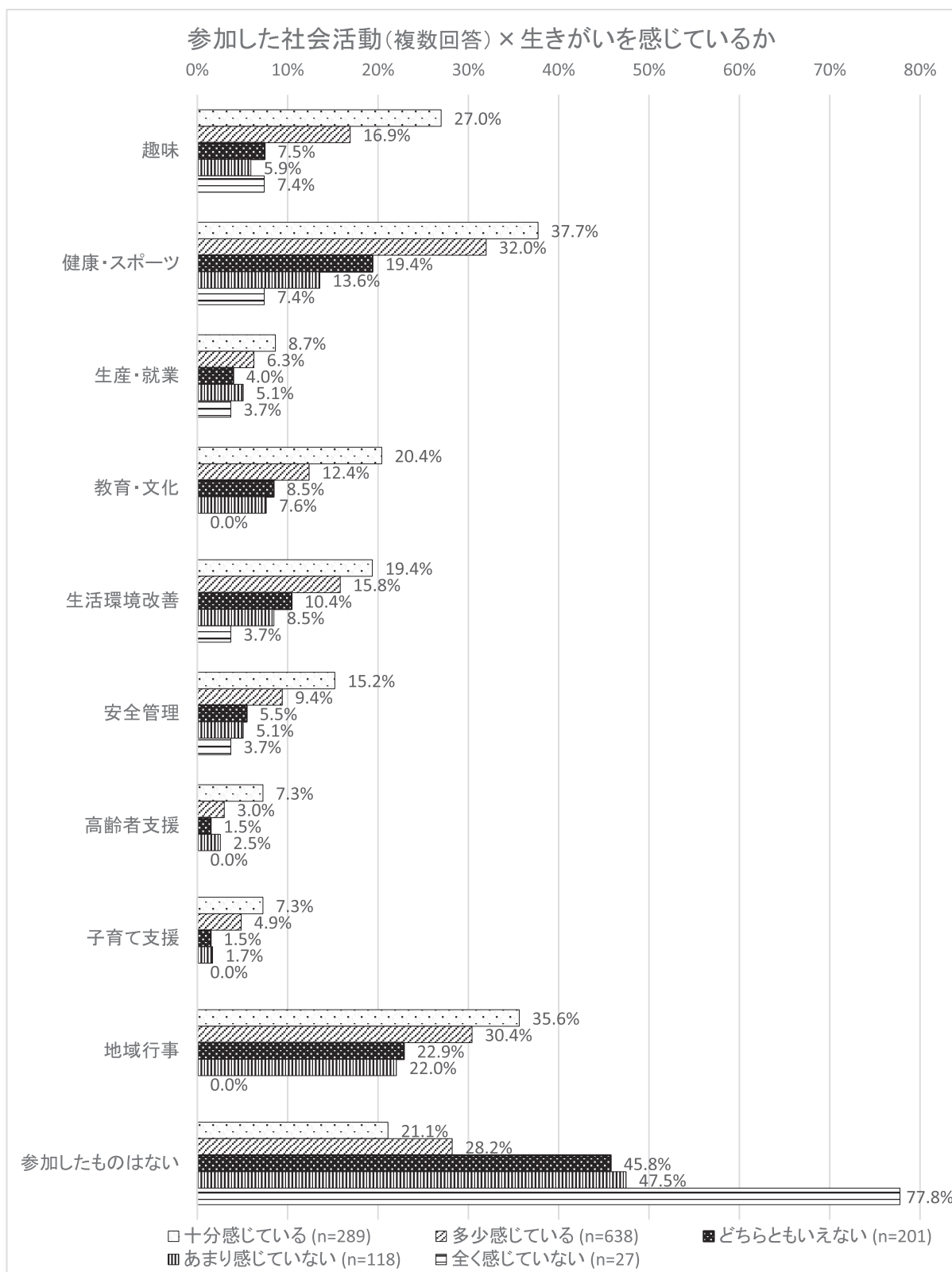
【生きがい感と社会活動への参加実績】

問 13 のいずれかの活動に1つでも参加した人を参加者とし、「参加したものはなし」と回答した人を非参加者とした。



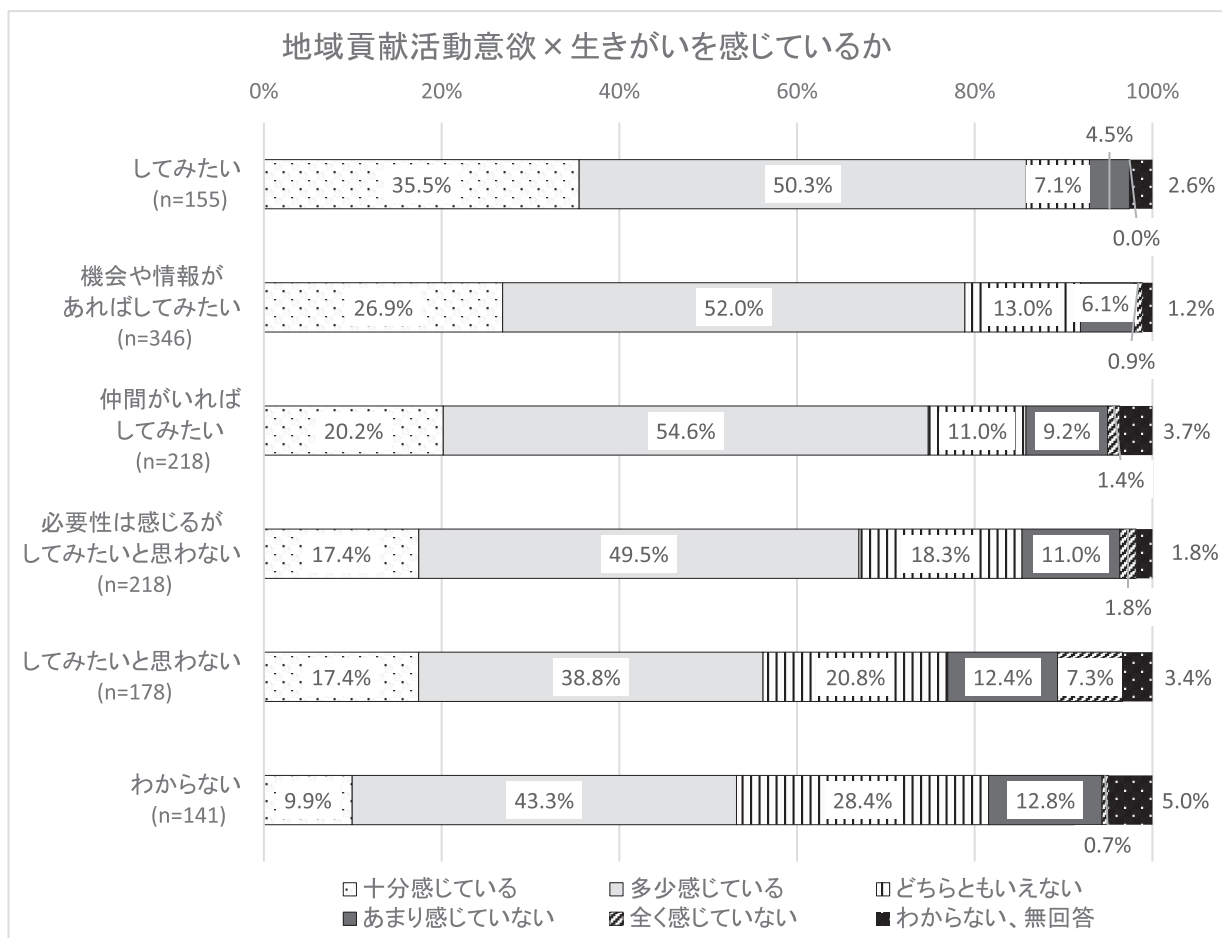
- ・「十分感じている」と「多少感じている」を合わせると、社会活動参加者は 78.7% が生きがいを感じているのに対し、非参加者は 56.9% となっている。
- ・また、「あまり感じていない」と「全く感じていない」を合せると、社会活動参加者 7.6%、非参加者 18.3%となっている。





- ・「趣味」、「健康・スポーツ」など、多くの活動分野において、生きがいを感じている人ほど、活動に参加している。
- ・生きがいを十分感じている人と多少感じている人が最も参加しているのは、「健康・スポーツ」となっている。
- ・生きがいをあまり感じていない人は、「地域行事」に参加した人が最も多く 22.0%、どちらともいえないと回答した人も、「地域行事」が最も多く 22.9%となっている。

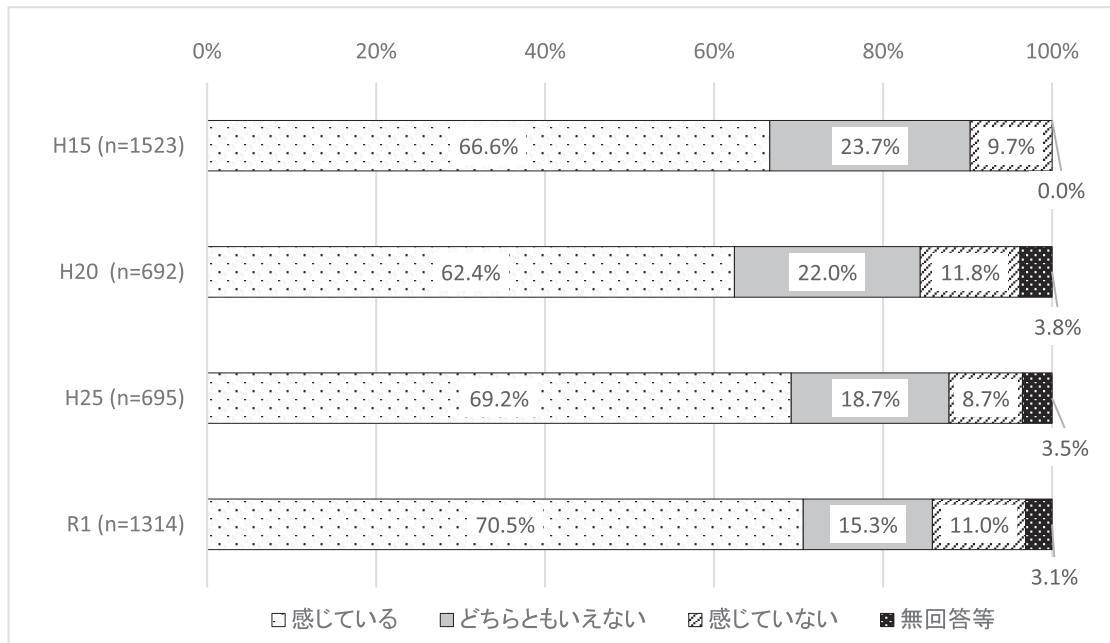
【生きがい感と地域貢献活動への参加意欲】



- ・生きがいを十分感じている人が最も多いのは、地域貢献活動を「してみたい」35.5%であり、「してみたいと思わない」、「必要性を感じるがしてみたいと思わない」がいずれも17.4%と最も小さく、地域貢献活動をしてみたいと答えた人ほど、生きがいを感じている人が多い。
- ・「十分感じている」と「多少感じている」を合わせると、「してみたい」85.8%、「機会や情報があればしてみたい」78.9%、「仲間がいればしてみたい」74.8%、「必要性を感じるがしてみたいと思わない」66.9%、「してみたいと思わない」56.2%と、意欲が下がるにしたがって減少している。
- ・一方、「あまり感じていない」と「全く感じていない」を合わせると、「してみたい」4.5%、「機会や情報があればしてみたい」7.0%、「仲間がいればしてみたい」10.6%、「必要性を感じるがしてみたいと思わない」12.8%、「してみたいと思わない」19.7%と、意欲が下がるにしたがって増加している。

【経年比較：生きがい感】

日々の暮らしの中の生きがいについては、過去調査を行っており、「十分感じている」と「多少感じている」を合わせて「感じている」とし、「あまり感じていない」と「全く感じていない」を合わせて「感じていない」として、集計し、経年比較を行った。



- ・生きがいを「感じている」人は、H15の66.6%からH20の62.4%と、いったん下がったものの、H25は69.2%となり、今回70.5%と過去最高となった。
- ・「どちらともいえない」は減少しており、今回15.3%と過去最低となった。
- ・「感じていない」は、H15からH20にかけて上昇し、H25に減少したものの、今回は再び上昇し11.0%となっている。